

	整備 主体	被災／稼働状況	H24				H25				H26				H27以降	備考・ポイントなど
			4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
〇〇事業			調査		査定		工事									
※※事業			査定		工事											
△△事業			調査		査定		工事									

工程表の作成趣旨

- ① 「工程表」の目的は、復旧、復興の状況を「見える化」し、住民を含め関係者間の情報を共有化し、復旧、復興の促進を図ること。
現段階では、主として災害復旧事業を対象に、早急に予算措置の検討が必要な3ヶ年を中心に作成。
- ② 工程表は、各施設管理者における進捗管理の基礎となるものであることから、各施設管理者において作成。

公表及び進捗管理

- ① 工程表は、今後、区域見直しや事業の具体化を踏まえ、対象事業や対象区域の拡充を行い、節目節目*で見直しを行う予定。
このため、現時点での不確定要素の存在や見通しをできるだけ示し、逐次、事業や工程の具体化が進んだ段階で、追加・修正を行うという前提で作成。
復興段階の整備事業も、今後、具体化に伴って工程表を作成。

* 例えば、予算編成や復興状況の把握の時点等に合わせて、一斉見直しを予定。加えて、状況の変化を踏まえ、必要に応じて個々の見直しも想定。
- ② 作成した工程表は、帰還を目指す住民の方々や地域の関係者とも情報を共有するため、関係各省及び復興庁に加えて、福島県並びに該当市町村において、ホームページ等で公表を予定。

工程表の作成作業

- ① 今後、現在作業中の4市町村を除く8町村及び一部事務組合を対象として、工程表の作成に向けた説明会を開催する予定。
(双葉地方広域市町村圏組合事務局には説明済み。)
- ② その後、該当各町村等あて、文書にて作成作業依頼を発出するとともに、個別に市町村事務担当者と調整する予定。